



もっともっと  
知恵はないか?

# つぶす気かい! この岸和田を…

市議会で最も重要な3月議会が終わりました。  
そこで承認された平成29年度予算案の恐るべき中味をご報告します。

## 29年度の予算は組めても、なんと、 30年度以降の予算が組めない?!



- 5年の財政推計が前代未聞の悪化。来年度以降の予算は組めないと当局。
- 財政悪化の元凶は何だ? 市長公約と財政危機の苦い関係を考える。
- 11月の市長選後、苦しむのはだれか?

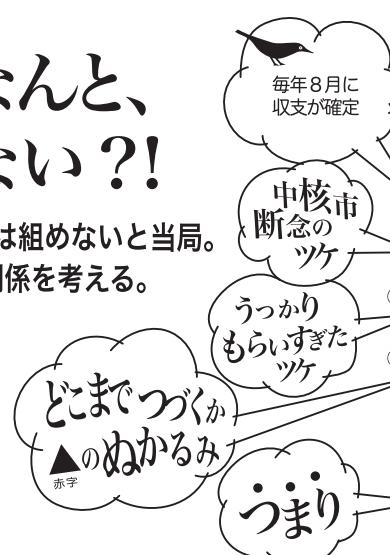
3月議会が始まる前に企画調査部より新たな今後5ヶ年の財政推計が提出されました。昨年9月下旬にもその時点の財政推計が出されましたが、今般は大幅に悪化しています。(図表-1・2)

驚いたのは、市の当局が「30年度以降の予算編成は難しい」と財政推計に堂々と(隠しようも

なく)記載していることです。

**財政推計**は市など公共団体の予算編成にとって基本的な指針です。なぜなら行政は将来にわたる事業の継続性を維持しなければならないから。行き当たりばったりでなく5カ年程の見通しのもとに予算を考えるのが本来あるべき当然の姿です。

この観点で見るとどうか? 例えば信貴市長の選挙公約だった28年度からの子ども医療助成制度の拡大。これは小学3(裏面へ)



推定年度	普通会計財政推定(28~33年度) 今後の収支不足見込						
	H27※1	H28	H29	H30	H31	H32	H33
8月現在の歳入見込	761.8	747.8	743.9	760.4	738.7	731.4	718.5
8月現在の歳出見込	757.9	757.7	752.7	769.3	746.7	735.2	718.8
8月現在の予算上の収支不足額	3.9	▲9.9	▲8.8	▲8.9	▲8.0	▲3.8	▲0.3
中核市移行中止影響分		▲0.4	2	▲0.7	▲0.7	0	0
生活保護に関する交付税算定誤差分			▲5.9	▲5.9	▲5.9	▲5.9	▲5.9
① 予想される収支不足額	4.0	▲16.5	▲21.9	▲15.5	▲14.6	▲9.7	▲6.2
財政調整基金残高見込	38.9	22.4	0.5	0	0	0	0
予想される累積赤字				▲15	▲29.6	▲39.3	▲45.4

財政調整基金が枯渇するため、H30年度以降の予算編成が困難となる

※1 H27年度は決算数字

① H27年度中の誤差におけるもらい過ぎた交付税額5.9億円を毎年度の歳入として見込んでいるため差引く必要あり。

② 各年度予算は当該年度の3月に確定、決算は翌年の9月に確定するため赤字は予算時点より決算時点の方が小さくなる可能性がある。

注) 28年度会計の決算は29年9月であり、29年度の予算は29年3月に確定となるため、実際には前年度決算においては不用額が多く出て財政調整基金に組入れられるが、3月時点の翌年度予算編成には間に合わないため、予算編成が困難になる。

年生までだった通院医療助成を中学卒業までに拡大したものですが、このため約3億5千万円ほど予算は拡大しました。

それやこれやで予算が組めなくなったらどうするのでしょうか。高齢者福祉や教育・文化や道路改良など多くの政策の予算を削るのか、あるいは市長公約の新規事業を削るのか、いずれにしても何かの予算を削るほかありません。

29年度予算案では、市長公約

は温存し、その他の政策の予算を約4%（28億円ほど）削減しています。それでも財源は足らず、企業なら急場の運転資金に当たる財政調整基金を取り崩して予算組みを行っているのです。

**今** 年の11月は市長選挙です。たぶん前回の市長選で公約した政策の予算は削れないま選挙に立つでしょう。

仮に市長選挙に対抗馬の候補者が出てきて現市長が負けたと

しても、30年度の予算が組めずには苦しむのは新市長。現市長は敗れても「4年間、公約を守りきった」と言うでしょう。でも、その市長が再度当選したらどうなるでしょう。何を削るのか見ものであります。↙

つぶす氣かい!  
この岸和田を…

## 10億円の返還にも危機感のない市役所。



- 財政再建プランは遅々として進まず…だるい「行政改革プロジェクトチーム」
- もらい過ぎの地方交付税返還には「検証委員会」を立ち上げないのか？
- 国からアラ探しをされる生活保護行政。府や総務庁は怒ってる…

さて、22億円余りの財政調整基金のほとんどを取崩してしまって、平成30年度予算はどうする気なのでしょうか！ 行財政改革プロジェクトチームを昨年の12月に立ち上げて2カ月にもなるのに、再建プランの骨子たるや抽象的な文言が並ぶだけ。数値目標を示した再建プランはこれからのことらしいです。

**同** じころ報道発表で騒がせたのが、もらいすぎてい

た10億円もの地方交付税を返さなくてはならないハメになったという「事件」です。生活保護の医療費分に関し国に提出していた25～27年度の3カ年に渡るデータに誤りがあったためと報じられています。

驚くことは、総務省より昨年9月に誤りを指摘され、今の今まで原因を追究していたらしいこと。同じことが岐阜市でもありました

て、6月2日には検証委員会を立ち上げ、既に報告書まで出ています。しかし岸和田市はこれかららしい。危機感の足りなさは指摘せざるを得ません。

**返** 還額は3カ年で10億7千円と市財政課では試算している模様ですが、これから厚生労働省や会計検査院の監査が入ればどうなるか？ 生活保護行政全般にわたって根こそぎ調べられるので、こんな金額で↑

↓は済まないでしょう。

**お** そらくこの件があつて財政の悪化が著しいことから中核市移行断念をしたのではないかと思われますが、10億円ものお金の一括で払うのか、分

割になるのかー。中核市移行断念で府や総務省を怒らせてしまつてるので、岸和田市に都合の良いようには計らってくれないことは明らかです。

## それなのに12月議会で職員給与を引き上げたのはなんでやねん？



ご報告3

- 引き上げに賛成した自公共の無定見は、なんでや？
- 反対した改革クラブの正しさが浮き彫りに…
- 30年度の予算編成は手詰まりの危機必至。

このような状態になることは、昨年12月議会の開催前には分かっていたはずなのに、なぜ職員給与や正副市長ら特別職の歳費を引き上げたのか、理解に苦しむところです。

**私** と私の会派（改革クラブ）は職員給与引上げは取り止めるべきであると、12月議会の当初より反対をしていました。それにしても、その時点ではここまで財政悪化になっていることは知る由もありません。

今回の議会でも、29年度予算

案に対し私は改革クラブは、「数値目標を記した具体的な再建プランを立てるまで暫定予算を組むべきである」とここでも反対をしました。けれども、いつものごとく自公共の会派の賛成多数で29年度予算は承認されました。

岸和田市はどこへ行くのか。まったくもって先が読めません。確かなことは来年の今頃は30年度予算編成で大変なことになっていることでしょう。